

平成 30 年度新名寄市病院事業改革プラン点検・評価事項

令和 2 年 2 月

名 寄 市

第1章 総論

平成28年7月に新名寄市病院事業改革プランを策定・公表し、計画期間5か年度のうち3年度が終了しました。平成30年度も平成29年度と同様、おおむね計画通りの進捗となりました。

第2章 市立総合病院

1. 総括

平成30年度における予定取り組み事項については、おおむね計画通りに実施しており、平成30年4月1日から経営形態を地方公営企業法全部適用に移行しました。

2. 地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築

①取り組み項目の実施状況

地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築にあたり、平成30年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

○平成30年度は医師1名、看護師4名、社会福祉士2名を地域医療連携室に配置することにより、地域の医療機関・介護施設等との連携強化を図りました。

○市立大学との連携に関する取り組みとして、従来から取り組んできたナースカフェを定期的に開催しました。

○旭川医科大学の協力により、講演会やワークショップによる多職種セミナーを1度開催し、参加者と地域医療や福祉の現状について理解を深めました。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
地域包括ケアシステムの構築	医療機関等との連携	情報交換・連携の強化	継続	継続	
		後方支援病床の確保	継続	継続	
	教育機関との連携	市立大学との人材交流・共同研究	継続	継続	・ナースカフェの開催 ・旭川医科大学との連携
	住民の理解	広報活動の充実・強化	継続	継続	・広報誌やホームページによる普及 ・サポートクラブと連携した PR 活動

②数値目標の達成状況

	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R2 目標
紹介率	22.9	26.5	26.4	22.7	32.8	22.9	23.1
逆紹介率	13.2	16.1	12.9	13.9	10.6	14.1	14.3
新規入院患者紹介率	35.7	31.4	32.1	36.8	18.1	36.9	37.0
在宅復帰率	90.9	93.8	91.8	92.0	93.8	92.0	92.0
医師派遣件数	574	585	626	570	710	570	570

3. 経営の効率化

①平成 30 年度決算の状況

平成 30 年度の料金収入は、患者一人当たりの診療報酬単価が伸びたことにより、昨年度と比較して 2 億 7,200 万円増の 84 億 4,500 万円となり、計画額を 1 億 1,100 万円上回りました。

一般会計繰入金も昨年度と比較して増加したことから、経常収益全体で 96 億 8,600 万円と、計画額を 2 億 2,300 万円上回りました。

支出については、カテーテル治療件数の増加により、材料費では計画額を 1 億 6,300 万円上回ったものの、職員給与費で 1 億 3,800 万円、経費や減価償却費などで計画額を下回り、経常費用全体では計画額とほぼ同額の 97 億 700 万円となりました。

上記に特別損益の収支を加えた、病院事業の収益性を示す純損益は、計画額を 2 億 5,100 万円上回り、800 万円の純利益を計上する結果となりました。

今後も本プランの趣旨に沿った収支改善策に取り組み、経営の健全化に努めてまいります。

②取り組み項目の実施状況

経営の安定性の向上に向け、平成 30 年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

○医師及び看護師の確保のため、医育大学や看護師養成学校との実習などを通じた緊密な連携体制を維持しました。

○研修医に選ばれる病院の構築のため、臨床研修評価機構の評価を受審、認証を受けた時に指摘のあった評価項目について検討、改善に努めました。

○未収金対策として、過年度未収者で電話、督促、訪問、窓口での不対応や分納不履行者に対して医療費未収金回収業務の一部を法律事務所へ委託しました。

○診療材料費の削減を目的として、民間企業が提供する診療材料の共同購入サービスの利用を開始しました。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
経営の 安定性	医師の確保	医育大学・関係機関への働きかけ 臨床研修プログラムの充実	継続	継続	・定期的な医育大学への要請活動 ・医学生等の実習・研修受け入れ ・臨床研修評価機構の評価受審による 指摘項目の検討・改善
	看護師の確保	随時募集・再就業支援研修の拡充	継続	継続	・随時募集・採用の実施 ・潜在看護師復職支援研修の実施
	医療スタッフの確保	情報収集・計画的な採用	継続	継続	・退職予定技師等の補充採用
	柔軟な給与制度の検討	他病院の状況調査・分析 医療職給料表の検討	検討	検討	
	高度医療機器の計画的な整備	費用対効果・使用頻度を勘案した計画的な整備	継続	継続	
	経営感覚に富む人材の登用	病院事業経営に精通した人材の登用・プロパー職員の採用	検討	検討	
	医業収益の確保	効果的な施設基準の選択	継続	継続	・DPC 分析の強化 ・定期的な外部研修会への参加
	適切な診療報酬の請求	職員のスキルアップ・各種説明会・研修会の実施	継続	継続	・DPC 制度に関する定期的な院内研修 ・診療報酬改定に伴う各種研修
	未収金の発生防止と回収対策	相談体制の充実・催告強化	継続	継続	・催告通知の継続的な実施 ・納入相談の継続的な実施 ・未収金回収業務の一部を法律事務所へ委託
病床の効率的運用	診療部・看護部の連携による効率的病床管理	継続	継続	・ベッドコントロールに関して、一部病棟の受け入れ診療科を調整	

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
	効率的な 人員配置	業務内容・方法の改 善を研究	継続	継続	
	費用分析 の強化	原価計算システム の導入			
	その他管 理的経費 の節減	費用に対する意識 の改善	継続	継続	診療材料の共同購入を開始

③数値目標の達成状況

1) 収支改善

収支改善に関する指標は、おおむね計画を達成することができました。

	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R2 目標
経常収支比率	96.1	98.0	98.4	97.5	99.8	97.2	100.4
医業収支比率	92.2	94.0	95.2	95.2	96.2	93.9	97.2
修正医業収 支比率	96.8	95.9	96.8	96.5	97.8	96.2	99.7

2) 経費削減

経費削減に関する指標については、収支に占める人件費の割合を示す職員給与費対医業収支比率は目標を達成できましたが、材料費の伸びにより、材料費対医業収支比率において目標達成はできませんでした。

	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R2 目標
職員給与費対 医業収支比率	59.8	57.2	56.8	57.0	54.8	57.1	55.5
材料費対医業 収支比率	26.3	27.3	26.7	26.6	28.1	26.8	26.3

3) 収入確保

患者一人当たりの診療収入は、急性期医療の提供が必要な患者数の割合が増加したことにより、一般科で計画を上回る伸びを見せました。精神科では、おおむね計画額どおりの結果となりました。

患者1人1日当たり診療収入	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標	R2目標
一般科入院	61,540	65,025	66,965	68,078	69,891	67,926	69,213
精神科入院	16,447	16,346	16,843	17,975	17,689	17,934	18,274
一般科外来	9,804	10,899	11,275	12,027	12,026	11,997	12,227
精神科外来	6,524	6,660	6,647	7,131	6,561	7,114	7,250

4) 経営の安定性

経営の安定性を示す医師の確保については、計画を上回る人員を確保した一方、看護職員については計画を32人下回りました。

	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標	R2目標
医師数	63	67	73	65	74	65	65
看護職員数	392	405	398	422	405	422	437

4. 再編・ネットワーク化

①取り組み項目の実施状況

再編・ネットワーク化の推進に向け、平成30年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

○町立下川病院が、公開型に移行しました。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
再編・ネットワーク化	クリティカルパスの推進	パスの拡充	継続	継続	
	地域連携の推進	介護・福祉行政に精通した職員の配置	継続	継続	
		ポラリスネットワーク運用の拡充	継続	継続	・町立下川病院が公開型施設へ移行
		高規格救急車の配備	検討	検討	
	財政支援の検討	圏域市町村の費用分担の検討	検討	検討	

②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

5. 経営形態の見直しに対する方向性

①取り組み項目の実施状況

経営形態の見直しに向け、平成 30 年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

○平成 30 年 4 月から、地方公営企業法全部適用へ移行しました。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
経営形態の見直し	地方公営企業法の全部適用	移行に向けた組織整備			
		関連条例の洗い出し・改定			
		全適後の組織体制の検討	実施	実施	平成 30 年 4 月から全部適用に移行

②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

第2章 東病院

1. 総括

東病院は、平成15年12月の開設以来、上川北部医師会が指定管理者として病院運営に取り組んでいます。現在は、市内の慢性期医療の一翼を担う存在として位置づけられており、平成30年度についても地域のかかりつけ医と長期療養患者の受け入れ医療機関としての機能を果たしました。

一方、診療収益においては、診療報酬改定や入院患者数の減少により、入院収益が大幅に減少しております。今後、入院患者の安定した確保が課題となります。

2. 地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築

①取り組み項目の実施状況

地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築にあたり、平成29年4月から地域医療連携室を設置し、社会福祉士を1名配置しております。

【平成30年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
地域包括ケアシステムの構築	医療機関等との連携	情報交換・連携の強化	継続	継続	
	病床規模の検討	病床数の調整・施設の有効活用	継続	継続	

②数値目標の達成状況

在宅復帰率については目標を達成したものの、急性期病院からの新規入院患者紹介率、介護・福祉施設等からの新規入院患者紹介率は目標を下回りました。他施設との連携強化が必要です。

	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R2 目標
急性期病院からの新規入院患者紹介率	30.6	40.9	28.2	32.4	28.2	33.6	35.0
介護・福祉施設等からの新規入院患者紹介率	33.9	9.9	3.4	20.0	4.2	20.0	20.0
在宅復帰率	33.3	66.7	66.7	33.3	41.6	33.3	33.3

3. 経営の効率化

①平成 30 年度決算の状況

平成 30 年度の料金収入は、入院収益が減少したことから計画額を 6,300 万円下回る 4 億 3,700 万円となりました。また、一般会計繰入金については、計画額を 5,100 万円上回る 1 億 9,700 万円となりました。

支出については、各種費用の抑制を図り、医業費用で計画額を 1,100 万円下回りました。純損益は収支ほぼ均衡となり 4 万円の純利益を計上しました。

今後も本プランの趣旨に沿った収支改善策に取り組み、経営の健全化に努めてまいります。

②取り組み項目の実施状況

経営の安定性の向上に向け、平成 30 年度に特に取り組んだ内容は以下のとおりです。

○平成 30 年度においても、医師 2 名体制を維持することができました。

○平成 29 年度から開始した外来診療時間の延長と総合健診を継続して実施しました。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
経営の 安定性	医師の確保	医療振興財団等との連携・人脈を通じた情報収集	継続	継続	・医師 2 名体制を維持
	医療スタッフの確保	勤務環境の整備	継続	継続	
	医業収益の確保	効果的な施設基準の選択	継続	継続	・午後外来診療（週 3 回：月～水） ・総合健診実施体制を継続
	適切な診療報酬の請求	職員のスキルアップ・各種説明会・研修会の実施	継続	継続	
	未収金の発生防止と回収対策	相談体制の充実・催告強化	継続	継続	
	病床の効率的運用	医師・看護師の連携による効率的病床管理	継続	継続	
	効率的な人員配置	業務内容・方法の改善を研究	継続	継続	

③数値目標の達成状況

医業収支比率及び修正医業収支比率が目標を下回りました。入院収益の改善が課題です。

	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	R1 目標	R2 目標
経常収支比率	101.7	99.2	102.1	100.0	100.0	100.0	100.0
医業収支比率	94.7	85.9	78.7	78.1	69.5	70.6	64.1
修正医業収支比率	98.4	89.3	81.7	82.0	73.0	74.0	67.2

4. 再編・ネットワーク化

①取り組み項目の実施状況

再編・ネットワーク化の推進に向けて、引き続き市立総合病院など他の医療機関と連携しながら取り組みを行います。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
再編・ネットワーク化	地域連携の推進	ポラリスネットワーク参加	継続	継続	
	財政支援の検討	基金の効果的な運用	検討	検討	

②数値目標の達成状況

本項目において数値目標は設定しておりません。

5. 経営形態の見直しに対する方向性

①取り組み項目の実施状況

経営形態については、引き続き指定管理者である上川北部医師会による運営を行い、設置者である市と緊密な連携を取りながら運営していきます。

【平成 30 年度の取り組み状況】

大項目	小項目	方法・内容等	H30		
			計画	実績	摘要
経営形態の見直し	指定管理者制度の継続	医師・スタッフの安定的確保	継続	継続	